

1. カルデラ 2. シラス台地 3. リアス海岸 4. 扇状地

1. 日本国内の消費地が近いため、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから	2. 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから	3. 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	4. 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから
--	--	---	---

1. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため

2. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため

3. 標高が高く年間を通じて気温が低い
ため、稲の成長が遅いため

4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、
稲の病気が発生しやすいため

1. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。
2. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。
3. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。
4. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。

鉄道の営業距離が約423kmあり、2004年には北西から九州新幹線が開通した鹿児島県の産業や交通の特徴について、正しい説明はどれですか。

1. 県庁所在地の人口は約20万人であり、公共交通機関としてのバスや路面電車はよく普及している。

2. シラス台地は農業専用の地域として保護されているため、住宅地としての開発は禁止されている。

3. 東側の半島に石油備蓄基地が集中しているため、西側の薩摩半島には石油備蓄施設がない。

4. 西側の薩摩半島には石油備蓄基地が立地し、周辺には鉄道も通っている。

1. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため海面温度が安定し、平野部を流れる河川が常に霧を発生させて作物を保護するため。
2. 北部の山地から吹き下ろす乾燥した冷たい風が、暖流の湿った空気と混ざり合うことで、ビニールハウス内の温度を一定に保つため。
3. 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。
4. 沖合を流れる寒流が夏場の気温上昇を抑える一方で、南側の平野部が日射を長時間受けることで年間平均気温が高まるため。

1. 鹿沼県 2. 熊谷市 3. 大田区 4. 大田区

福岡県は、博多港と韓国の釜山（プサン）を結ぶ高速船などの国際定期航路が整備されているといった地理的特長を活かした観光が盛んです。2015年のデータにおいて、福岡県での宿泊者数が約85万人と、中国（約28万人）やアメリカ（約6万人）を大きく上回り、最も高い割合を占め

いる国はどこですか。(2019年 佐賀県公立入試 類似)

九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること

2. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること

3. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること

4. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること

1. 閑菜口一云層 2. カルカフ 3. 廟伏地 4. シノ入日地

1. 他の地方と比べて米の占める割合 2. 肉用牛や豚などの飼育が盛んである 3. 大都市への出荷に向けた近郊農業 4. みかんやりんごなどの栽培が盛んである

が非常に高く、全体の半数近くを占めている。	り、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。	であり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。
-----------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------

特徴があります。この条件に当てはまる県として正しいものはどれですか。(2022年 熊本県公立入試 類似)

1 鹿児島県 2 佐賀県 3 福岡県 4 長崎県

① 人口の増減を力付ける際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることで主たる人口増加のことを何といひますか。

4 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。(2018年 千葉県公立入試 類似)

1. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んでいる。
2. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。
3. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってできた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。
4. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。